

## 令和4年度事業報告書

特定非営利活動法人

子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

### はじめに

本年度、コロナウィルス感染拡大防止策について「アイプラザ半田」の管理運営との方針に従って、昨年に引き続いて実施した。今年度も生徒・保護者・スタッフ等関係者の協力もあって、特段の問題もなく無事終了した。ウィズコロナの状況変化にあって、フリースクールとしての教育活動は、引き続き無事継続して展開することができた。以下はその事業報告の詳細である。

### 1. 事業実施の概略

本団体は、不登校、引きこもり等に悩む若者や保護者の方々に、相談業務、フリースクールでの学習及び生活指導を通して相互の理解と協力関係を構築してきた。（定款第3条）そこで、特定非営利活動に係る（1）フリースクールにおける青少年支援活動事業（2）スタッフのカウンセリング研修事業（3）青少年の健全育成に関する事業について、それぞれの事業を展開してきた。（定款第5条）以下その詳細について報告する。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### （1）青少年支援活動事業

##### ア フリースクール支援事業

##### （ア）事業内容

#### ① 学習指導及び生活指導

##### ・日 課

（検温、教室内消毒、教室入室記録）

9：30～9：40 諸連絡

9：40～11：30 自主学習（基礎学力充実）

11：30～12：30 軽運動室にて卓球（水・木曜日）

12：30～13：30 昼食

13：30～15：00 リクリエーション、手芸、ゲームなど

・毎週木曜日2部学習支援 14：30～17：00…青少年の学習支援と居場所の提供

内容（会話、トランプゲームなどの交流、学習、読書、ダンスなど）

・利用施設は「アイプラザ半田」内109号、110号室（いずれも本スクール活動室）

・活動日：

・4月7日～7月20日（夏休み7月21日～8月23日）

・8月24日～12月23日（冬休み12月24日～1月6日）

・1月10日～3月24日（春休み3月25日～4月6日）

第1号議案：令和4年度事業報告書（2）

② 進路相談

・公立の定時制、通信制高校及び私立の通信制サポート校などの情報提供を行い、受験に必要な学習指導や作文・面接指導も継続して行った。並行して進路相談業務を進めて行った。

③ スポーツ・リクリエーション（市教育委員会による減免措置を受けている）

a 月1回主に火曜日 13：00～14：00 半田市体育館（主にバスケット、バドミントン）

b 毎週水・木曜日 11：30～12：30 施設内の軽運動室（卓球）で、毎回参加者平均5～7名

④ 相談業務

・必要に応じ適宜行っている。a. 本人の申告によるもの。b. スタッフが必要と認めたもの。c. 緊急に必要と認められた場合。d. 進路支援に関わる相談業務 e. 相談活動：随時

⑤ 社会見学

・南吉記念館…10月25日（火）11：00～14：00（ウォークラリーを含む）生徒3・スタッフ3

⑥ 茶道教室

・アイプラザ半田茶道室…11月17日（木）13：30～講師1名、参加者10名

⑦ アニマルセラピー

・毎月第4木曜日・ボランティア団体の協力のもと、主に中庭を利用して動物に触れ合う。コロナ下にあって中止していたが、5月より再開した。

⑧ 令和4年度卒業・修了を祝う会

a. 開催日時：令和5年3月25日（土）10：00～12：00

b. 会場：アイプラザ半田2階小ホール

c. 内容：卒業・修了を祝う会・懇談会

出席者：卒業生5名（高校生2名、中学生3名）修了生1名（小中学校生1名）

保護者3名、スタッフ12名、親の会7名、来賓6名、ピアニスト1名

（計 35名）

新型コロナウイルスの感染拡大がやや落ち着きを取り戻したことで、関係者とは3年ぶりに一堂に会することができた。懇談会では久々に楽しい一時を持つことができ、有意義な会となった。

（イ）従事者人数

1日平均4～7名

（ウ）受益対象者人数

3～7名

（エ）費用総額 417,019 円

内訳：（教材費 2,780 円 印刷製本費 120 円 旅費交通費 350,962 円

消耗品費 60,747 円 賃借料 2,410 円）

（オ）収 益 0 円

イ 「ハートルーム」及び「寺子屋事業」

（ア）事業の性格

①「ハートルーム」：毎月第3土曜日（10：00～15：00）、に小学生を中心に学習、遊び、工作、手

第1号議案：令和4年度事業報告書(3)

芸、講師を依頼しての特別教室などの活動を展開している。最初は子どもの扱いに困った母親の相談が主であったが、子どもも参加するようになった。

- ②「寺子屋事業」：「半田市・子どもの学習支援事業実施要領」に基づいて、長期休暇中に、学校以外に安心して過ごせる居場所を提供し、学習支援を実施する。当事業は「半田市子ども未来部子ども育成課」との協力関係を維持しながら現在に至っている。

(イ) 実施内容：

工作、手芸、ゲーム、コマ回し、リクリエーション、歌、新聞作り、野外観察などに取り組む。

(ウ) 利用施設：活動場所は教室、中庭、軽運動室、半田市内の公園、社会施設等

(エ) 従事者人数：「ハートルーム」「寺子屋事業」とともに3~4名。

(オ) 「ハートルーム」の受益対象者人数、1回平均13名（内訳：小学生8、中学生3、高校生2）

(カ) 親たちによる「おしゃべり会」ハートルーム開催日13：00から毎回出席者3名程度

(キ) 「寺子屋事業」の実施期間と受益対象者人数

夏期：寺小屋事業…7月25日(月)、26日(火)、27日(水)

8月19日(金)、20日(土)、22日(月)、23日(火)

※受益対象者人数：17名（小学生8名 中学生7名 高校生1名 OG1名）（スタッフ3名）

冬期：寺子屋事業…12月26日(月)、27日(火)、28日(水)（以上13時~16時）

※受益対象者人数：15名（小学生4名 中学生8名 高校生2名 OB1（スタッフ3名）

春期：寺子屋事業…3月27日(月)、28日(火)、29日(水)

※受益対象者人数：17名（年長1名 小学生4名 中学生9名 高校生3名）（スタッフ4名）

(ク) 費用総額 75,641円

内訳：（教材費 9,644円 旅費交通費 36,500円 通信運搬費 756円 消耗品費 22,076円  
雑費 2,505円 賃借料 4,160円）

(ケ) 収 益 0円

ウ OB・OG活動支援事業

(ア) 事業内容

①卒業生や高校生を中心とする進路・悩み等の相談業務への対応

②のばす会への行事参加

(イ) 従事者人数 2名

(ウ) 受益対象者人数

・年間13名が参加：本年度もコロナ下による出席者数の減少等がみられるようであった。

(エ) 費用総額 2,141円

・内訳：（消耗品費 2,141円）

(オ) 収 益 0円

エ 第2部学習支援事業

(ア) 事業内容

①毎週木曜日(14:30~17:00)参加者は中学生、高校生、卒業生たちへの居場所の提供

②学習支援：高校進学のための学習活動は、今年度もコロナ禍にあってボランティアの学生不在

第1号議案：令和4年度事業報告書（4）

のためスタッフに支えられながらの学習を進めてきた。

③文化祭発表のための（準備）・ダンス練習を行った。

④進路相談：本人の希望第一にスタッフが繰り返し対応した。2部担当以外のスタッフの協力に支えられた。

（イ）従事者人数

・1日2名

（ウ）受益対象者人数

・1日平均2名（中高校生）

（エ）費用総額 32,252円

内訳：（旅費交通費30,000円 消耗品費2,252円）

（オ）収益 0

（2）カウンセリング研修事業

ア カウンセリング研究会

（ア）事業内容と開催趣旨

本団体が指導を受けている臨床心理士の助言に基づき、スタッフのカウンセリング技法の向上、親さんのカウンセリングに対する理解などを図るための手立を企画した。具体的には、ケーススタディーを扱うと同時に、テキスト・参考文献選定などを臨床心理士の助言に基づいて行われた。また会報などを通し、臨床心理士のコメント集などをシリーズ化した。

（イ）開催日時

・毎月第3月曜日17:30~19:30 アイプラザ半田109号室

・本団体のスタッフの主要スタッフの研究協議に加え、臨床心理士による指導・助言により開催された。

（ウ）費用総額47,550円

内訳：（会議費14,550円、旅費交通費33,000円）

イ カウンセリング研修・〈A〉

テーマ —カウンセリングマインドを生かした関わり方—

（ア）事業内容

臨床心理士により選定されたテキスト「教室で生かすカウンセリングアプローチ（桑原知子著）」を中心に、カウンセリングの専門的な知識及び話し合いや意見交換を通して、子どもたちに寄り添う上でのカウンセリングマインドを学ぶ。今後の指導に役立てることを本事業の目的とする。

（イ）開催日時と開催会場と参加人員

① 8月1日（月）13:30~16:30・アイプラザ半田・第5会議室 13名（含：講師1）

② 8月8日（月）13:30~16:30・クラシティー・Aルーム・10名（含：講師1）

③ 8月29日（月）13:30~16:30・アイプラザ半田第6会議室・12名（含：講師1）

ウ カウンセリング研修・〈B〉

——保護者とスタッフのための研修——

（ア）事業内容と開催趣旨

第1号議案:令和4年度事業報告書(5)

保護者の方々の悩みに対応し、全員で話し合い意見交換を通しつつ、ケースタディーとして位置づけて臨床心理士の助言・指導を受けた。そのことを通してカウンセリングの手法や、カウンセリングマインドの重要性について、保護者、スタッフがそれぞれの立場から、共に学ぶことを目的とした。

(イ) 開催日時と開催会場と参加人員

- ・9月18日(日) 13:30 ~ 16:30 12名(講師1、保護者8、スタッフ3)  
アイプラザ半田第1会議室
- ・10月23日(日) 13:30 ~ 16:30 10名(講師1、保護者7、スタッフ2)  
アイプラザ半田第1会議室
- ・令和5年1月22日(日) 13:30 ~ 16:30 13名(講師1、保護者9、スタッフ3)  
アイプラザ半田第6会議室

(ウ) 費用総額 44,089円(カウンセリング研修(A)(B)の合計)

- ・内訳:(諸謝金 30,000円 会議費 4,000円 旅費交通費 2,080円 教材費 849円  
賃借料 6,160円 研修費 1,000円)

(エ) 収 益 0円

エ 全国連絡会主催「登校拒否・不登校問題に関する・第25回全国の集い(京都大会)」参加事業  
新型コロナウイルス感染拡大防止の事情により中止

(3) 青少年の健全育成に関する事業

ア 文化祭事業

(ア) 開催 日時: 令和5年1月28日(土) 11:00~14:30

(イ) 実施 会場: アイプラザ半田2階・小ホール

(ウ) 準備時間帯: 11:00~12:50

- (1) 会場設営、リハーサル(ダンス、ペープサート、全体、体験発表者)
- (2) オープニングピアノ

(エ) 実施時間帯: 13:30~14:30

(オ) 実施 内容:

- (1) 代表挨拶
- (2) オープニング(ピアノ演奏、寺子屋・ハートルームによるペープサート)
- (3) 「今だから話せる第6弾」(卒業生2名、親の会)
  - ① 卒業生: 城山竜輝(5分) ② 保護者: 脇田裕恵、黒瀬育子(各10分)
- (4) スタッフ紹介
- (5) 終わりの挨拶

(カ) 費用総額 31,661円

内訳:(旅費交通費 5,000円 賃借料 22,560円 雑費 4,101円)

(キ) 収 益 0円

3. 古川一也公認会計士事務所コンサルティング

会計について処理の仕方などを相談し、適切な助言をいただいて処理してきた。

#### 4. 日本福祉大学との連携(サービ斯拉ーニング)事業協力について

##### (1) 事業の実施方法

実施主体の日本福祉大学は、市民活動の中間支援組織である NPO 法人「地域福祉サポートちた」をパートナーとし、当団体としては両者の要請に応える形で事業の実施に当たった。

##### (2) 事業の内容

- ア 6月3日(金) 9:20~10:50 日本福祉大学美浜キャンパス 第1回打ち合わせ会
- イ 6月16日(木) 13:30~・アイプラザ半田 学生4名、のぼす会訪問
- ウ 8月19日~22日: 寺子屋事業参加 参加学生 4名
- エ 8月23日、24日、9月8日フリースクール参加 参加学生3名
- オ 10月15日「サービ斯拉ーニング活動報告会」 13:10~16:35 日本福祉大学美浜キャンパス

##### (3) 参加学生数

- ・日本福祉大学社会福祉学部2年生 4名(男子2名、女子2名)

##### (4) 担当者

○伊藤 里香、伊藤 敦、 大学担当者:日本福祉大学社会福祉学部 大林由美子

##### (5) 事業収益 20,000円

#### 5. 学! コラボ2022 (若者市民協働意識醸成事業) <半田市企画部市民協働課主催>

##### (1) 事業内容

次代を担う若い世代(高校生)を対象に、市民活動の実態や活動支援の方法を理解してもらい、市民協働や社会貢献活動への参加につながるよう、協働意識の醸成を図ることを目的とする。

##### (2) 活動の内容

- ・9月21日(水): 第1回プレゼン研修(オンライン)
- ・10月1日(土): 第2回プレゼン指導(個別研修) 11:30~ 半田市市民交流センター
- ・10月25日(火): 午後50分授業・学コラボ①: NPOから半田商業高校生へプレゼンを行い、高校生が応援したいNPOに投票する。
- ・11月2日(水): 午後50分授業・企業などからの協賛金贈呈式(本団体は最高得票数を得た)NPOと高校生との意見交換を行う。(半田商業高等学校)  
協賛金から得点に応じた金額(30,600円)を三菱UFJ銀行半田支店及び八洲建設より、贈呈される。

##### (3) 担当者: 伊藤里香

#### 6. 地域社会と行政及び社会貢献型企業の開催事業への参加

- ・従前の企業の社会貢献イベント事業は開催されていない。

#### 7. 他団体との交流・協力のための会議・研修・情報交換

- ・4月27日(水)「NPOスタッフのための働き方講座(テーマ: NPOスタッフのための働き方講座)」  
9:30~12:00 知多市福祉活動センター (伊藤敦)
- ・6月18日(土)「講演会: 私たちNPOの原点を考える 講師: 認定NPO法人フリースペースたまりば、西野博之氏」知多市市民活動センター 13:30 ~ 15:30(伊藤敦)

第1号議案・令和4年度事業報告書(7)

- ・8月20日(金)「半田市・若者市民協働意識醸成事業(学!コラボ2022)募集説明会」  
半田市市民交流センター(伊藤里香)
- ・9月25日(日)「若者サポート進路を考える会」知多市青少年会館 14:00~16:30 (榎原紀美子)
- ・10月25日(火)「半田市・若者市民協働意識醸成事業(学!コラボ2022)、  
第1回50分授業「NPO活動プレゼンテーション」(のばす会の概要説明)  
半田商業高等学校 13:30 ~ 15:30 (伊藤里香)
- ・11月2日(火)「半田市・若者市民協働意識醸成事業(学!コラボ2022)、  
第2回50分授業「NPOと高校生の意見交換」、「企業等からの協賛金贈呈式」  
半田商業高等学校 13:30 ~ 15:30 (伊藤里香)
- ・11月27日(日)「公立の定時制・通信制高校説明会&相談会」東海市立文化センター13:30~16:00  
(榎原紀美子)
- ・12月10日(土)「半田市子ども未来ミーティング」半田市役所4F大会議室 9:30~12:30  
(伊藤里香、松原美花、吉田典子)
- ・12月16日(金)半田商業高等学校生による「学コラボ2022フィールドワーク」13:55~15:30  
アイプラザ半田 109, 110 教室(伊藤里香)
- ・令和5年1月18日(水)「サービスラーニング情報交換会」メディアス体育館ちた 10:00~12:00  
(伊藤里香、伊藤敦)
- ・2月17日(金) 愛知県義務教育課令和4年度フリースクール連絡会(オンライン) 14:00~16:00  
(赤松、伊藤里香)

8. 主な訪問者・見学者及び訪問団体

- ・4月7日(木) 半田市学校教育課指導主事 1名、スクールソーシャルワーカー 1名
- ・5月10日(火) 武豊町教育委員会 1名
- ・6月1日(水) 知多郡武豊町子育て支援課 職員・臨床心理士等 3名
- ・6月1日(水) 愛知県議会議員等 ヒヤリング 3名
- ・6月7日(火) 愛知県福祉事業団体情報誌「ハナノキ」2022夏号 取材 2名
- ・6月29日(水) 知多教育事務所教育相談員 1名
- ・7月25日(月) 日本福祉大学教員 1名
- ・8月23日(火) 和服着付指導者 1名
- ・9月2日(金) 名古屋敬進高等学院 1名
- ・10月19日(水) 東浦フリースクール臨床心理士 1名
- ・11月11日(金) 愛知県労働福祉課 3名
- ・12月15日(木) 半田市社会福祉協議会・コミュニティー・ソーシャルワーカー 2名
- ・12月16日(金) 学・コラボ フィールドワーク 県立半田商業高校総合ビジネス科・生徒 10名  
半田市市民協働課 1名、日比企画 1名
- ・令和5年1月24日(月) 東浦フリースクール subaco 1名
- ・1月26日(木) 日比企画、(My Town 半田・阿久比) 1名
- ・2月2日(木) 中日新聞記者 1名

第1号議案・令和4年度事業報告書(8)

- ・3月25日(土) 令和4年度卒業・修了を祝う会 教育関係者5名、行政1名、中日新聞記者1名
- ・3月28日(火) (寺子屋事業)・「読み聞かせ講師」 2名

9. 助成金に関する報告

ア 助成金の種類

- ・令和4年度子どもの学習・生活支援事業(半田市子ども育成課)  
対象事業:「寺子屋事業」助成金・・・・・・・・・・130,000円
- ・令和4年度半田市生活困窮者支援団体活動費補助金(半田市生活援護課)  
・・・・・・・・・・500,000円

イ 助成金への対応

- ・一層充実した活動に心掛け、お礼と共に会計及び活動報告を行った。

10. 寄付又は寄贈及び寄付金に関する報告

(1) 寄付の種類

ア、寄付(支援物資を含む)

(ア) 募集方法

ニュースレター及び文書による募金のお願い。預金口座や「ろうきん寄付システム」により寄付金を募り、寄付者へのお礼をニュースレターに掲載する。

(イ) 寄付金

- ① 個人の寄付金(受取寄付金) 642,285円
- ② 団体の寄付金(賛助会員受取会費) 55,050円

(ウ) 団体の支援物資

- ① 日本証券業協会・「子どもサポート証券ネット」加盟会社…物品(支援物資)寄付団体  
・岩井コスモ証券株式会社 ・立花証券株式会社 ・丸三証券株式会社  
・岡三証券株式会社 ・KOYO証券株式会社  
支援物資の内容:(お米、食品詰め合わせ、味付け海苔、飲料水、レトルト食品、  
カップ麺、インスタント麺、ミネラルウォーター、消毒液等)
- ② 労福協会知多支部(東海ろうきん)…学用品セット
- ③ 半田市社会福祉協議会…菓子類
- ④ 有限会社イチノ損害保険センター…菓子類
- ⑤ 伊藤労務社会保険相談事務所…漫画本259冊(3万円相当)

(2) 書き損じハガキと未使用切手の回収事業:切手代:74,641円(資産受贈益として計上)回収事業を行い、のばす会に在籍した人たちや相談に来られた方に「のばす会・ネットワーク便り」や講座などの案内を郵送する通信費に充てた。

(3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン ギフトカード:10,500円(資産受贈益として計上)図書券8,000円(資産受贈益として計上)

(4) 個人の皆様より、カップ麺3箱、菓子、食品、衣類、文房具、本、雑貨など多くの寄付が寄せられた。

(5) 物品(支援物資)の寄付及び寄付金への対応



第1号議案:令和4年度事業報告書(9)

- ・寄付及び寄贈者に対して受領記録簿に記入の上、お礼文とともに年3回のニュースレターや行事の案内を送付した。

## 11. 広報活動について

(1) 本団体ホームページの 随時更新

(2) ニュースレターの年3回の発行

①「のばす会・ネットワーク便り」第27号:2022(令和4)年4月8日発行

②「のばす会・ネットワーク便り」第28号:2022(令和4)年8月10日発行

③「のばす会・ネットワーク便り」第29号:2022(令和4)年12月8日発行

※会員、寄付者、相談者、過去在籍者、及び関係の個人や各関係各機関に配布した。

(3) 日本財団が運営するCANPANに団体情報を掲載し、全国に情報を開示した。

(4) マスコミ・団体情報誌・タウン情報誌への対応

①愛知県福祉事業団体の情報誌「ハナノキ」2022夏号に本団体の活動内容が掲載された。

②半田市市民協働課主催の若者市民協働意識醸成事業(学・コラボ2022)への取り組みと贈呈式の様子が、11月3日中日新聞に掲載された。

③「学・コラボ2022」への本団体の取り組みが、11月20日、「My town 半田・阿久比」に掲載された。

④令和5年3月25日(土)「卒業・修了を祝う会」が、3月29日(水)中日新聞に掲載された。

## 12. 会議の開催に関する事項

### ア 理事会

(ア) 開催日時及び場所

- ・令和4年5月14日(土) 11:00 ~12:00 アイプラザ半田109号室

(イ) 議 題

#### ① 審議事項

- ・第1号議案:令和3年度事業報告書について
- ・第2号議案:令和3年度活動計算書について
- ・第3号議案:令和4年度事業計画(案)について
- ・第4号議案:令和4年度事業予算(案)について
- ・第5号議案:令和4年度役員変更(重任)について
- ・第6号議案:令和4年度役員変更(新任)について

#### ② 報告事項

- ・年間役員名簿について

### イ 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

- ・令和4年5月14日(土) 13:00~14:00、アイプラザ半田第1会議室

(イ) 議 題

#### ① 審議事項

- ・第1号議案:令和3年度事業報告書について

第1号議案:令和4年度事業報告書(10)

- ・第2号議案:令和3年度活動計算書について
- ・第3号議案:令和4年度事業計画(案)について
- ・第4号議案:令和4年度事業予算(案)について
- ・第5号議案:令和4年度役員変更(重任)について
- ・第6号議案:令和4年度役員変更(新任)について

② 報告事項

- ・年間役員名簿について

以 上